

## 船舶事故調査報告書

平成23年6月2日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 横山 鐵 男（部会長）  
委員 山本 哲 也  
委員 石川 敏 行  
委員 根本 美 奈

事故種類	乗組員死亡
発生日時	不明（出港時から平成23年2月3日 14時00分ごろまでの間）
発生場所	鹿児島県南さつま市秋目湾内（南さつま市の秋目漁港～薩摩野間岬灯台から真方位137° 6.8海里（M）付近の間）
事故調査の経過	平成23年2月7日、本事故の調査を担当する主管調査官（門司事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 <sup>あかぎ</sup> 赤城丸、0.4トン KG3-38437（漁船登録番号）、個人所有 5.02m（Lr）×1.65m×0.51m、FRP ガソリン機関、漁船法馬力数30、平成11年9月15日
乗組員等に関する情報	船長 男性 78歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士 免許登録日 昭和54年12月13日 免許証交付日 平成22年1月20日 （平成27年8月16日まで有効）
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	右舷側船底に亀裂を伴う凹損
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、刺し網による伊勢エビ漁を行うために秋目漁港を出港した。 本船は、平成23年2月3日14時00分ごろ、秋目漁港の南方1.4M付近の岩場に乗り揚げているのを僚船により発見された。 船長は、翌4日15時17分ごろ、本船が乗り揚げた位置から約5m沖の水深約4mの海底にうつ伏せ状態で沈んでいるところを、南さつま消防署潜水隊員により発見されて引き揚げられた。 船長は、溺死と検案された。
気象・海象	気象（枕崎特別地域気象観測所） 2月3日 04：00 天気 晴れ、風向 北、風速 4.0m/s 08：00 天気 晴れ、風向 北、風速 3.3m/s 12：00 天気 晴れ、風向 北北西、風速 5.8m/s 14：00 天気 晴れ、風向 北北西、風速 3.5m/s 海象：海上 平穏、水温 約16℃

その他の事項	<p>船長は、同居家族がなく、自宅を出た時刻は不明である。</p> <p>本船が出港するのを見た者は、いなかった。</p> <p>刺し網による伊勢エビ漁は、夕方に網を入れ、翌日の朝方に揚網しており、秋目湾内は、伊勢エビの漁場であった。</p> <p>船長は、救命胴衣を着用していなかった。</p> <p>本船の船外機は、キー及びスロットルレバーが前進の状態となっており、船体から約5m離れた海底に沈んでいた。</p>	
分析	<p>乗組員等の関与</p> <p>船体・機関等の関与</p> <p>気象・海象の関与</p> <p>判明した事項の解析</p>	<p>不明</p> <p>不明</p> <p>なし</p> <p>船長の死因は、溺死であった。</p> <p>本船は、秋目湾内における伊勢エビ漁のために秋目漁港を出港後、14時00分ごろ同漁港南沖の岩場に無人で乗り揚げているところを発見されたことから、この間において、船長が落水して死亡した可能性があると考えられるが、落水した状況を明らかにすることはできなかった。</p>
原因	<p>本事故は、本船が秋目湾内における伊勢エビ漁のため、秋目漁港を出港後、船長が落水したことにより発生した可能性があると考えられる。</p>	
参考	<p>本事故の再発防止策として次のものが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・救命胴衣の着用</li> <li>・防水型携帯電話の所持等連絡手段の確保</li> </ul>	

※ 「参考」は、今後の同種船舶事故等の再発防止のために役立つと考えられる事項を列挙したものである。